

園長だより

いっしょに楽しむ子

令和6年2月7日
富士市立昭和幼稚園

1年をまとめる3学期が始まり、1か月が過ぎました。小正月の繭玉づくりや昭和幼稚園祭り、そして節分の豆まきと、この季節ならではの行事を楽しみつつ、笑顔で明るく過ごす子どもたちの姿に“たくましさ”が感じられます。友達との遊びを“いっしょに楽しむ”ことを通して、できることが増え、主体性や協同性が発揮されるようになりました。

ひよこ組



繭玉づくりに日ごろの粘土遊びが役立ち、お団子を上手に丸められました。東部児童館へのお散歩は、ひよこ組の友達同士で手つなぎ。とっても上手に歩けました。幼稚園にはないおもちゃに大喜びでした。園庭では、青組のお姉さん・お兄さんと鉄棒遊び。動きを真似て逆立ちに挑戦です。心も体もたくましく育ちつつある子どもたちは、元気よく鬼退治！

さくら組



エプロンと三角巾を身に付け、初めてのクッキングに挑戦。フルーツたっぷりのゼリーに生クリームとアラザンをトッピング。おいしさに大満足でした。仲良しいっぱいのさくら組は、絵本を読むのも友達と一緒に。挿絵を見ながらのおしゃべりが楽しそうです。昭和幼稚園祭りでは、ポーリングのお店屋さんごっこを楽しみました。役割分担も上手になりました。

青組



チャレンジすることが大好きな青組の子どもたちは、鉄棒遊びでも新しい技を工夫し、ひよこ組のお手本に。ホッピング、フラフープ、ひもゴマ回しと、難しい遊びに進んで挑戦！成功したときの喜びの笑顔が、とっても素敵です。昭和幼稚園祭りでは、ひよこ組の子どもたちとペアになり、遊びのお店を楽しみました。お兄さん・お姉さんとしての優しく温かな眼差しに、健やかな心の育ちを実感しました。